

報道関係者各位

株式会社コスモライフ 2016年6月2日

緑茶 VS 紅茶 都道府県ランキング発表！

東日本は紅茶、九州は緑茶など、異なる地域傾向を発見
～ウォーターサーバーを提供するコスモライフ調べ～

株式会社コスモライフ(本社：兵庫県加古川市、代表取締役社長：徳山 均)は、統計データを元にインフォグラフィックで表現した「緑茶VS紅茶 都道府県ランキング」を発表しました。統計データを元にグラフィックで表現することで、各都道府県によって緑茶と紅茶を飲む量が異なり、地域ごとに特徴があることが分かりました。

インフォグラフィックの公開URL <http://www.cosmowater.com/fun/info/tea.html>



【トピックス】

- (1) 九州は緑茶、関東～北海道は紅茶、関西はどちらもよく飲む、という地域傾向がみられた
- (2) 緑茶をよく飲む都道府県、1位は静岡県、2位は奈良県、3位は三重県
- (3) 紅茶をよく飲む都道府県、1位は神奈川県、2位は兵庫県、3位は大阪府

※インフォグラフィック(インフォメーション+グラフィックス)とは、データを分かりやすくビジュアル化し、1枚の絵で表現するデザイン手法です。

本インフォグラフィックは、総務省統計局 家計調査（二人以上の世帯）の調査を元に、緑茶、紅茶の年間購入数量（g）が多い順にランキング化したものです。数値は、平成24年（2012年）～26年（2014年）平均値です。本調査は、都道府県庁所在地及び政令指定都市別に集計されているため、複数の地域を調査している都道府県については、最も多い地域のデータのみを抽出し、便宜的に都道府県別として取り扱っております。

【考察】

■ 緑茶と紅茶、地域で好みが変わるのには理由があった



食卓でもおなじみの緑茶と紅茶。どちらをよく飲むのか、地域によって好みが変わることがわかりました。そこで、まず参考にしたいのが茶葉の年間生産量。農林水産省の平成26年「農林水産統計」によると、1位静岡県（3万3,100t）、2位鹿児島県（2万4,600t）、3位三重県（6,770t）、4位宮崎（3,870t）となっています。やはり茶どころ周辺は身近に緑茶があり、飲む機会が多いことがわかります。特に九州は、鹿児島県・知覧茶、熊本県・阿蘇茶、矢部茶、福岡県・八女茶、佐賀県・嬉野茶など有名な産地が点在しているため、紅茶よりも緑茶の文化が根づいている印象です。

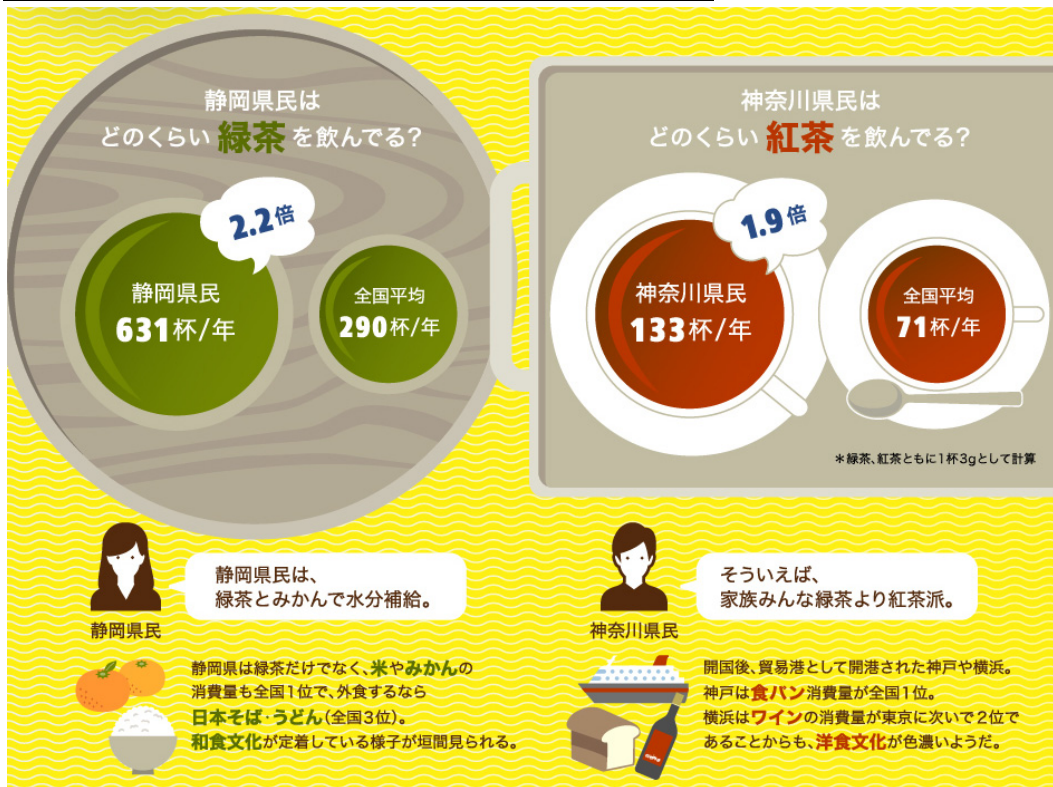
一方、紅茶は明治20年に100kgがイギリスから輸入され、日本の茶の湯の伝統にも匹敵する舶来の文化として、日本の上流社会でも、もてはやされました。つまり、当時の貿易港だった横浜や神戸は、最新の文化として取り入れやすい環境

にあったことがわかります。その後紅茶文化は、関東から西は関西まで、東は北海道まで伝わったようにも見て取れます。ちなみに大分県は、明治政府が中国人技術者を呼び、中国式の紅茶製造に初めて着手した土地でもあります。

*参考：平成26年農林水産省「農林水産統計」

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/pdf/syukaku_tya_14.pdf

■よく飲む“お茶”からその地域の文化が見える



静岡といえば緑茶というぐらい、県民の「お茶愛」が熱いのが静岡県。例えば、静岡県島田市では蛇口からお茶が出てくる給茶機を備えた小学校が4校、中学校が2校あるそうです。また、お茶のほかに、米や魚など、和食の基本となる食材が豊富で、消費量も多く、和食文化が定着していることから、紅茶よりも緑茶を好む傾向にあると言えます。

紅茶は、神奈川県と兵庫県の消費量が多く、開国時の貿易港としての名残を感じます。紅茶の他にも、横浜市はバターとチーズの消費量が全国1位、川崎市はスパゲッティの消費量が2位、神戸市は食パンの消費量が1位、ジャム消費量が3位と、双方とも紅茶が合う洋食を好む県民性であることがわかります。

*参考：総務省統計局 家計調査（二人以上の世帯）2013～2015年平均

<http://www.stat.go.jp/data/kakei/5.htm>

■ランキング詳細

美味しいお茶は、美味しい水で楽しもう

ウォーターサーバーなら、美味しい天然水のお湯がいつでも使えます



都道府県別ランキング詳細(g)

														
1位	静岡県	1,892	神奈川県	400	16位	鹿児島県	1,002	長野県	216	32位	長野県	805	茨城県	180
2位	奈良県	1,535	兵庫県	387	17位	宮崎県	992	愛知県	209	33位	岐阜県	790	静岡県	180
3位	三重県	1,357	大阪府	332	18位	長崎県	981	千葉県	207	34位	山梨県	763	山形県	177
4位	滋賀県	1,266	奈良県	308	19位	千葉県	969	岩手県	204	35位	高知県	742	群馬県	177
5位	京都府	1,260	東京都	291	20位	秋田県	956	福岡県	203	36位	北海道	736	鹿児島県	162
6位	熊本県	1,165	大分県	275	21位	新潟県	943	沖縄県	203	37位	岩手県	658	青森県	158
7位	大阪府	1,160	埼玉県	271	22位	宮城県	924	山梨県	201	38位	福島県	648	三重県	154
8位	福井県	1,137	滋賀県	261	23位	愛知県	918	香川県	201	39位	愛媛県	642	徳島県	150
9位	福岡県	1,121	京都府	248	24位	大分県	913	宮城県	200	40位	山口県	614	愛媛県	146
10位	島根県	1,081	岡山県	237	25位	埼玉県	906	福島県	199	41位	山形県	605	鳥取県	141
11位	神奈川県	1,056	北海道	230	26位	群馬県	905	和歌山県	197	42位	沖縄県	571	秋田県	138
12位	石川県	1,054	栃木県	229	27位	栃木県	893	宮崎県	192	43位	香川県	561	高知県	138
13位	佐賀県	1,052	長崎県	229	28位	東京都	892	広島県	189	44位	青森県	534	岐阜県	126
14位	和歌山県	1,011	新潟県	225	29位	広島県	889	島根県	187	45位	徳島県	517	福井県	123
15位	富山県	1,007	石川県	221	30位	茨城県	878	佐賀県	186	46位	鳥取県	508	山口県	116
					31位	兵庫県	820	熊本県	184	47位	岡山県	502	富山県	114

ライフスタイルの多様化によって、紅茶を愉しむ文化も浸透してきました。一方、緑茶の年間生産量は減少傾向にあります。最近になって、緑茶に含まれるカテキンの抗菌作用やアンチエイジング効果など、緑茶が日本のみならず世界で見直されつつあるといえます。また、紅茶や緑茶に含まれるテアニンにはリラックス効果もあります。せっかくなら、紅茶も緑茶もじっくり茶葉から美味しい水で淹れて、心のゆとりを持ちたいものですね。

緑茶・紅茶の美味しさは使用する水の品質にも大きく左右されます。特に緑茶は、水の硬度が高くなるにつれて旨味が抽出されにくくなる性質を持ちます。緑茶の旨味を引き出すには、日本人に馴染みのある軟水がおすすめです。中でもミネラルバランスの良い天然水を使用いただくよりまろやかな茶葉の風味を楽しむことができます。

コスモライフは、お客様に関心をもっていただける情報を今後も発信し、同社が製造販売を手掛ける天然水ウォーターサーバーで、美味しい緑茶・紅茶を楽しんでもらいたいと考えております。

▼情報・画像の引用について

本プレスリリースに含まれる情報（テキストや画像）を引用頂く際は、出典が株式会社コスモライフであることを明示いただき、該当リンク（<http://www.cosmowater.com/fun/info/tea.html>）を同時に掲載するようお願いいたします。

■会社概要

商号　：株式会社コスモライフ

代表者　：代表取締役社長　徳山　均

所在地　：〒675-0032 兵庫県加古川市加古川町備後358-1

設立　　：1988年8月

事業内容：天然水宅配事業

コスモウォーター公式サイト： <http://www.cosmowater.com/>

企業公式サイト　　　　　： <http://www.cosmolife.co.jp/>

※「コスモウォーター」は、株式会社コスモライフのウォーターサーバー及び宅配水事業のブランド名称です

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社コスモライフ 企画部

電話：079-456-1223